

令和4年度 中央区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	令和5年3月16日(木) 午後2時から午後3時30分まで
会場	ふるまち庁舎4階 401会議室
出席者	中央区自治協議会委員:24名 中央区PTA連合会:会長、筆頭副会長、副会長 教育委員:田中賢一教育委員 乙川千香教育委員 事務局:教育次長、特別支援教育課長、学校支援課指導主事、 中央図書館長補佐、中央区教育支援センター所長・指導主事・主任 中央区役所:区長、地域課係長 傍聴者1名 市議会議員1名 マスコミ0社
議事	1 開会 2 教育委員あいさつ
田中 教育委員	<p>こんにちは。昨年度より引き続き中央区を担当させていただいております教育委員の田中賢一と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日は年度末の大変お忙しなか、貴重なお時間を頂戴して、区の教育ミーティングを開催させていただきます。本当にありがとうございます。</p> <p>以前ですと、区の教育ミーティングは、年2回開催されておりました、その年度の市の取り組みの説明や、あるテーマについて委員の皆さまとの意見交換などをしていました。一昨年からは、新型コロナウイルスの影響で年1回の開催となりました。昨年度は、中央区と江南区だけの開催となっております。</p> <p>現在、学校現場では、新型コロナウイルスが第5類に移行するというものの卒業・入学式を迎え、まだまだ気の抜けない日々が続いております。</p> <p>委員の皆さまからは、昨年それぞれのお立場で学校に対して様々なお力添えいただいた一面があったと改めて感謝とお礼を申し上げます。</p> <p>本日は限られた時間ではありますが、新潟市の特別支援教育と、中学校の部活動の地域移行についてご説明申し上げ、皆さま方から忌憚のないご意見をいただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。乙川委員お願いいたします。</p>
司会	
乙川 教育委員	<p>皆さま、こんにちは。お忙しいところ、本日はお集まりいただき、お時間を頂戴いたしましてありがとうございます。コロナ禍が少し緩んで、春めいてきて、私としましては、少し気持ちがわくわくするところと、また新たに気持ちが引き締まる思いです。最近のニュースで、小中学生の自殺率が増加したという、とても残念な報道がされました。時代がかわって情勢がかわって、子どもたちの環境が本当に大きく変化しております。多様な子どもたち</p>

	<p>の心と体と学びが、のびのびと自分らしく活動ができますように、皆さんの忌憚のないご意見をたくさん頂戴いたしますように、よろしくお願いいたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
議事	<p>3 中央区P T A連合会役員あいさつ</p>
P T A連合 会会長	<p>皆さん、こんにちは。中央区P T A連合会会長そして有明台小学校P T A会長をやっております宮本と申します。コミュニティ協議会をはじめ地域の皆さまには日頃から、子ども、学校を起点として、いろいろな子どもたちのサポートをしていただきまして、この場を借りて御礼申し上げます。今年度からコミュニティスクールの活動が始まりまして 地域、保護者、そして学校がそれぞれの立場から色々な話をする機会がでてきております。来年度も引き続き皆さまとご協力をして子どもと学校にとって良いことができるよう思っておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。</p>
P T A連合 会筆頭副会 長	<p>ご紹介いただきました小山進でございます。日ごろから自治協議会、コミュニティ協議会の諸先輩の皆さまからは、子ども達に対する過分なるご指導をいただき、大変ありがとうございます。中学校の部活動の地域移行の問題は注目されている状況です。忌憚のない皆さま方のご意見いただきながら、私たちがどう対応していくかについて、深くと受け止めていければと思いますので、最後までどうぞよろしくお願い致します。</p>
P T A連合 会副会長	<p>中央区連合会の副会長をやっております吉原です。上山中学校のP T A会長もやっております。日ごろ、地域でいろいろと子どもたちの小中併せてご協力いただいていることについて、この場を借りてお礼申し上げます。</p> <p>今日の会議、皆さんの忌憚のないご意見いただきたくて地域に持ち帰って、参考にしたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
議事	<p>4 説明</p> <p>(1) 特別支援教育への取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育課より説明 <p>※説明内容は、会議資料参照</p>
司会	<p>質疑応答に入ります。ただいまの特別支援教育の説明について、ご質問がありましたら挙手願います。</p>
自治協委員	<p>小学校のコミュニティスクールの委員をやっているのですが、先生方が特別支援学級について人的支援と、サポートが欲しいと言われたのでよろしくお願い致します。</p>
特別支援教 育課	<p>色々な学校からそういう声をいただきます。一定基準、一学級子どもが6人を超えるとまず基準配置、基準には達していないけれど、基準に加配とい</p>

	<p>って本当に何とかしてさしあげたいという思いはあります。学校で見立てが違っていて違うツボを一生懸命押しているかもしれない、スタッフが入って、ツボはそっちではなくてこっちですよということがわかったり、それから良かれと思ってやっていることがまったく逆効果、暴れる子どもを大人に無理やり抑えられたという悪い記憶だけが残って、ますます反抗的になっているような、そういう分析もできているので、専門のスタッフがおりますので、相談していただければと思います。学校の先生方によろしくお伝えください。</p>
自治協委員	<p>今、説明されたことと少し逆説の話になるかと思いますが、インクルーシブ教育システムが出来上がって、子どもたちの目線で障がいのある子どもたちに対する差別などについてはどのようにお考えですか。</p>
特別支援教育課	<p>もちろんそういった心配はあるかと思いますが。インクルーシブ教育を実施している学校を訪問した方の話によると、重度の知的の障がいがあるお子さんが言っている言葉を大人が聞き取ることが難しいという状態で、授業中何かその子が言って担任が首をかしげたら、一緒に過ごしている子どもたちが「〇〇さんは、今、こう言ったんだよ。」と喋って通訳をする。その学校の先生方の感想は、一緒に育ててきて良かったなど。子どもたちの方が順応に対応して受け入れていく。今の子どもたちがこれから生きていく世の中は、外国籍の方もLGBTの方も障がいを持ってらっしゃる方も多様ないろんな方を受け入れている。子どもたちのところからインクルーシブな環境で育っていくということは、子どもたちの成長にとって意味のあることではないかと思えます。</p>
議事	<p>4 説明 (2) 部活動の地域移行について ・学校支援課より説明 ※説明内容は、会議資料を参照</p>
司会	<p>質疑応答に入ります。ご質問等ありましたら挙手をお願いいたします。</p>
自治協委員	<p>中学のコミュニティスクールで討議しました。我々の中学校でも終着点が見えない。例えば、10年後どのような形になっていけば良いのか、それが分からないと我々どう進めて良いか分からない。せつかく進めていたのに終着点が反対方向だったり、10年後どのような形の部活動になっていけば良いのか、まず明確に示して欲しいです。あと終着点ですが、例えばテニススクール、スイミングスクールのように民間に帰属させるのか、それとも小学校の子どもの野球のように地域の方が行うのかという問題が出ました。地域の方にしても、コーチをできるような人間が地域に居るのか。そして、例えば、野球だったら30代40代の方が毎週3日も4日も来られるのか、生活</p>

できるのか、そんなことは現実的には無理じゃないかという意見が出ました。それからいろんな協議会、全中とかいろいろあるのですが、その辺はどうなるのか。とにかくコーチがいないし、そういうクラブ活動やスイミングスクールにしても、これだけの人数がまた入ると受け入れできるのか。あと例えば野球ですと、近隣の住民がうるさいと言って、小学校中学校のグラウンドは使えない。我々の早起き野球の社会人チームは、どこのグラウンドも使えないので阿賀野川の河川敷しかダメ。小学校のグラウンドは、10年程前に近隣住民に反対されて使えなくなった。そんな状態において、はたして理想のクラブができるかどうか、コーチの報酬とかいろいろ問題が現実になって、中学生全体でスポーツ体力づくりをきちんと担保出来るかどうか。今、運動部におそらく6割から7割の子どもが入っていると思うんですよ。そこまでの割合の生徒に本当にスポーツをさせることがこういう形で移行できるのでしょうか。

学校支援課

思いが大変よくわかりました。お答えできる部分だけ回答させていただきます。まず、10年後ということですが、国からこうなるといえるものはきていません。新潟市独自でも考えていく必要があると思います。ただ、10年後の中学生だけに限定した話ではないということは確かだと思っています。中学生や教育委員会というような枠を超えた新潟市全体のスポーツ支援をどう作っていくか、新潟市のスポーツの在り方はどうなるか、ひいては国のスポーツの捉え方はどうなるか、スポーツ基本法とも関わっている問題なのかなと思います。ただ、国がスポーツを大切にしていきたいということだけはきちんと伝わってきていますし、そういったところは大切にしていきたいと思っています。併せて、運動の機会を大切にしながら子どもや我々成人もその年代その年代に応じた体力作りであったり、スポーツに慣れ親しんだりということが重要になると考えています。

中央区の状態は、指導者はいる、でも土地が狭い、逆に、他の区では土地はある、でも指導者は少ない、という実際の状況が区によっても違うことから、今後検討を進めていけない部分とされているところだと思います。全国中学校体育大会についても、まず中学校体育連盟がいつまであるか、日本中体連がいつまで組織されるのかということについても議論の中にあるものと考えています。令和5年度からクラブチームでも参加を認められるようになったと中体連からの通知にありました。ただ、検討することは多々ありまして、種目によって参加条件が違い、指導者、又は監督の参加条件も種目によって違うというのが現状のようです。私たちが情報交換しながら、どういった道に進むべきなのか独断で決めないよう議論を重ねてまいりたいと思います。令和5年度、モデルケースとして、昨年度の4事業をさらに増やして進めていきます。こういった様々なモデルケースをパターンとして示しながら各校、各部で一体どんな方法がとれるのか一緒に進めていきたいと思いま

<p>自治協委員</p>	<p>す。</p> <p>例えば、テニス、水泳など個人で競技参加できるのは、まだ大丈夫じゃないかと話があって、ただ、野球、サッカー、バレーなどは、どうするのか。スポーツは、競技があつてのスポーツです。競技がなければスポーツが成り立たないような状況だと思います。チームで運動しているのに大会がなければ、対戦もできないとやりがいなくなる、その辺はどうするのかという課題があります。</p>
<p>学校支援課</p>	<p>はい、議論の一つとして持って帰りたいと思います</p>
<p>自治協議会 委員</p>	<p>部活動の地域移行について、目的のひとつには、学校の働き方改革があるということで先ほどお話し伺いました。旦那さんが学校の先生という奥さんと話したのですが、旦那さんが土日ほとんど家にいないそうです。どうしてなのかと聞いたら、部活動の仕事がある。それも朝、自分でマイクロバスを運転して夜夕方遅く帰ってくるということで、子どもさんが小さいのですけれども、旦那さんは、面倒も見えてくれないと、学校の働き方改革ということで、先生の就労の改革、改善このことについてどういうふうを考えていらっしゃるのか。令和8年5月までには例えば、その学校の先生が指導員として参加しないとか、何かそういった形の目標はあるのでしょうか。</p>
<p>学校支援課</p>	<p>学校の働き方、教員の働き方改革は、私たちの所属の所管ではなく、人事課で扱っているもので、お答えできる範囲ですが、月に何時間に抑えられるようにタイムコントロールできる仕組みを各学校に声をかけているところです。先生の働き方改革と部活動の地域移行との関わりについて、昨年秋に、県が先生方へのアンケートを実施しました。部活動の地域移行後、活動に参加しますかどうしますかという意識調査です。全県的に行ったもので、新潟市も一緒にそこに参加させてもらって実施したところ、土日の活動を「今後も引き続き参加します」又は「条件次第では参加します」と回答した方は新潟市で30%でした。これは全県的に見ても大体同じ数字と聞いております。令和8年4月までにということですが、すでにスポーツ庁からは、部活動指導、土日の指導を望まない教師は参加しなくてよい、ということが出ております。ただ、中には部活動を実施したいという方がいらっしゃいます。令和8年4月以降、部活動を実施するとなると、土日は部活動でなくなるので、教員が教員という立場ではないという手続きをとって兼職兼業願という方法で部活動や文化活動に関わっていくという流れで今考えております。先生方が部活動を指導しなくなると、指導者はどうするのかという問題も出てくると思っています。先ほどの話と重複するのですが、いまスポーツ協会さんを通じて各協会さんや連盟さんの方にもお声かけしたところ、もっと情</p>

	<p>報がほしい、自分たちでできること考えたいとのことで、調整を図っていきたいと考えています。</p>
<p>自治協委員</p>	<p>学校教育の中に、学習教育、運動教育があって、体を動かすことで、一体感があって、先生との信頼関係をスポーツを通して育んでいると思う。部活動なくなり、勉強だけの学校になって、勉強が嫌だけど部活動の先生は好きだというような今の形がどんどん崩れて、精神ともにちょっと疲れた子どもたちが増えていくのではないかと、日本の教育のバランスが崩れていくことが懸念される、国の施策としてそういうこと考えなかったかな。私素人でも考えるのですが、先生方はどのように考えていらっしゃるのでしょうか。</p>
<p>学校支援課</p>	<p>将来的には、部活動の地域移行は、平日も、ということになっていますが、スポーツ庁から、いつからというのはまだ出ておりません。部活動があるところは引き続き行うと捉えております。もちろん先生方のなかには部活動や運動を通じて子どもたちと一生懸命やっていきたいと思う方が大勢いらっしゃいます。ただ、学校は何をするところかといえば、それは学習をして学ぶ力を身に着けていくところだと思っています。勉強であったり運動であったり様々なことを行うことを学びだと私自身は考えています。部活動で行われている効果的な部分、これも確かにあるのも承知しています。10年後どのような形になっているかが見通せない時代だということが様々なところでいわれています。この部活動や学校教育そのものも同じように問われている部分なのかなと思います。10年後の姿が、今ひとつこう明確でないという先行きが見えない時代だということについては、スポーツ庁というよりも国全体で話題になっているところです。学校の先生方が、今後、部活動がなくなった時に自分はどうするかということになれば、今まで以上に子どもたちにどういうふうに接していくか、学習指導はどのようにあるべきかということ深く考える、そういう機会が増えてくると思います。学習の部分に大事にしていける施策だと私自身は捉えています。部活動の地域移行ということで、モデル事業を回らせてもらっていますが、学校の先生でない方が教えている姿の中にも子どもたちの成長はあるんだなということを私自身も感じています。回らせてもらった部活動で学校の先生が見ていないからこそ自分たちでやるんだというふうにキャプテンが一生懸命動いている姿を見ました。先生がいて動ける部分、いなくても動ける部分、いないからこそ育っていく部分があるのかなというふうに私には感じているところです。ただ、先生方の働き方改革だけではありませんし、委員がおっしゃいました先生との信頼感という部分は、部活がなくなっても築けるような方法を先生方にも検討してもらいたいと考えているところです。</p>
<p>自治協委員</p>	<p>先生と生徒の信頼関係は、卒業した子との間にも生まれています。ゆとり</p>

	<p>教育が見直されたように、何年か後に部活動の地域移行を見直す機会はあるのでしょうか。見直す機会を設けていただきたいと思います。健全育成は、先生方が健全でないと出来ない、コミュニティスクールで私はいつも言っているのですが、その中で一番その部活動にかかわる時間、先生方は大変苦労されているところだと、それを解消するのは良いと思うのですが、今後、部活動がなくなることによって何回も同じことをいうのですが、先生との信頼関係が何か薄れるような感じがする、何十年か後も見直す機会があるのであれば是非また部活動を復活してもらいたい。お願いします。</p>
学校支援課	<p>ありがとうございます。国の施策とはいえ、やはり何年かのサイクルで見直すべきと私も考えております。貴重なご意見として承らせていただきます。ありがとうございました。</p>
自治協委員	<p>制度設計上、スケジュールはどうでしょうか。</p>
学校支援課	<p>制度設計という意味では、この地域移行と実際のモデルケースを走らせながら作っているイメージです。学校からは、情報が欲しいと言われておりますので、これから検討会議を開き、決まったことから情報提供していこうと思っています。学校でもハウツーやノウハウが欲しいというということで、Q&Aを作りながら、それに沿ってもらうようにしています。Q&Aを見ながら、課題が出てきたら、こちらに返してもらい、制度を作っていくというふうに思っています。</p>
自治協委員	<p>では、先行する地区と先行出来ない地区が分かりますよね。</p>
学校支援課	<p>おっしゃるとおりだと思います。場所的なものや人的なもので用意のできる部分、用意のできる学校、部があるかと思えます。できる学校できる部から、この3年をかけて作って欲しいというふうに、今、お願いしているところです。</p>
自治協委員	<p>信頼関係が勉強においてもスポーツにおいても、教師に対して認めてもらえるということは、非常に子どもたちにとって大きなことだと思う。ひょっとしたら、それが一生支えていくのではないかと思う。勉強ができる人はもちろん認められる、それ以外のスポーツ、野球部とかサッカー部とかで技量がある人、チームをまとめられる人が先生から信頼を受けると、信頼をうけた子どもは認められたと自信をつけていく。将来的にそれがなくなっていくとなると、信頼というか自己肯定感をつくるうえで、今までの自己肯定感の範囲が半分くらいになっちゃうのではないかと。</p>

学校支援課	<p>貴重なご意見として受け止めさせていただきたいと思います。また検討会議の方で話題に挙げたいと思います。ありがとうございました。</p>
自治協委員	<p>部活動の段階的な地域移行の考え方について、資料にこれからの地域での活動に赤字で囲って自分の「やりたい」を実現する場として書いてありまして、その下に赤字で自主性・主体性の育成、その下に人間性の育成、自己肯定感の獲得とあります。教育的側面は絶対残しておかなければならないと思うのですが、次のページに、移行後に民間クラブチームから始まって5つばかり選択肢があります。民間クラブチームが少子化でこれからますます採算性を求められると思うのですが、その辺の教育的な側面が必ず担保されるのかどうかというのが気になっています。その辺をどのようにお考えになっているのかお聞きしたい。あと仕組みの問題です。先ほどのご説明で、生徒の中にもいろんな考え方があり、いろんなニーズがある、というお話がありましたけども、たとえばAという中学校の部活はBという地域のクラブチームに移行しますとなった時に、ある生徒がCという民間クラブチームに移行してくれとなった場合にどのような調整を行うのかその辺を伺ってみたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
学校支援課	<p>議論の途中の部分もあるので、私見や考えということでお話できるところまでしたいと思います。</p> <p>まず、民間クラブについてですが、現段階で民間クラブに所属している生徒さんは現段階で既にいます。地域移行となったときに、改めて自分が目指す道をどこにするのか、友達と一緒にBという団体に行くか、それともCという仲間がいるところに行くのか。それとも自分はプロを目指す、強くなりたい、技能を高めたいというために民間へ移行するのかどうか。そのあたりは、その子自身が主体性を持って考えてほしいですし、親御さんと一緒にその子の将来についても考えながら、活動を選んでいって欲しいと私自身は考えています。BやCを選ぶかどうかということも、人によって違うと考えています。個人であれば一人一人選べばいいと思いますが、チームはどうするか、月謝が高ければ良いのか、それはわかりませんが、このようなところが今回の地域移行の中で関わってくる部分かなと思っています。</p> <p>自己肯定感については、移行させた団体でのやりとりを私も見てきました。保護者の方からもアンケートでご意見いただきましたが、確かに学校の先生との関わりの部分が減る。そのかわりに増えるところは、チームでの指導者との関わりというふうに思っています。親御さんからのご意見を見ますと、我が子のレベルが上がって頑張っているようで嬉しいという反応ですとか、チームとしての技能が高まっていると思います、とか。これは、専門家の方から教えてもらっているというのが大きいと感じます。専門の方から教えてもらって上手くなっているというのは大きいようで、家に帰ってから自</p>

自治協委員	<p>主練するようになりました、という回答もあります。その中で最たるものだったのは、地域の方と触れ合う時間が増えてよかった、という回答がありました。そういうことを踏まえると地域移行された先でも子どもたちが得るもの、または認められていく部分が多くあるというのが私自身の考えです。</p> <p>支援教育もそうなのですが、仕組みがあっても運用がうまく行かないとどうにもならない。極端に言うと目配せができること。民間が良いという成功例があるというのは承知しましたので、そこによりきめ細かに目配りして丁寧な設計をしていただきたいというのが希望です。</p>
自治協委員	<p>将来的に、部活動は、平日・休日問わずに地域移行するという施策なのですが、令和8年4月からは休日の部活動は行わないで、地域活動に移行するということと、令和5年4月からは休日の部活動は地域移行の形に開始するとなっていますが、平日の部活動はそれぞれの中学校によっては平日はやるけれども休日は行わないという中学校も出てくるのでしょうか。</p>
学校支援課	<p>令和5年4月から準備期間に入ります。令和8年4月からは、土日の部活動はなくなっていきます。この3年間ですが、先ほど少し触れましたけれども準備の整った部、つまり指導者が見つかった、依頼したら受けてもらえた、また保護者が自分たちで運営していこうということになった、というような運営主体や指導者が確実にいるというようなところから順番に地域移行となっています。資料ですと、令和8年4月に大きく変わっているように見えますが、徐々に右側の形になっていくというふうに捉えてください。学校によっては、令和5年4月から平日の部活動も休日の団体がみるというような取り決めができたところから、平日の部活動も移行していく学校もあります。私たちがモデルケースとして持っているものではないので、詳細までは分かり兼ねるのですが、令和5年4月からの3年間は部活動が平日行われる学校これがベースにはあります。ただ、中には既に休日のチームとして動いていく学校もあるという捉えでお知りおきいただきたいと思います。</p>
議事	5 閉会
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆さまからの貴重なご意見ご質問ありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして、令和4年度中央区教育ミーティングを閉会いたします。皆さま、長時間にわたりありがとうございました。</p>